

コミュニティバス運行事業等に関する
サウンディング型市場調査

実施結果

令和6年12月

にかほ市

総務部 総務課

1. サウンディング型市場調査の目的

にかほ市では、コミュニティバスの運行について、運行経路及び運行形態を総合的に見直し、運行効率化や他の地域交通との連携による運行経費の低減等により、継続的に公共交通サービスの提供が出来る事業体制の構築を検討しています。

検討にあたり、民間事業者等から広く意見や提案を求めることを目的にサウンディング型市場調査を実施しました。

2. サウンディングの実施概要

(1) スケジュール

実施要領公開	令和6年11月1日（金）
説明会の開催	令和6年11月12日（火）
サウンディング（対話）の実施	令和6年11月29日（金）
サウンディング実施結果の公表	令和6年12月16日（月）

(2) 対話の実施方法

- ・市HPでの公募によりサウンディング参加者を募り、申込のあった参加者ごとに個別に対話を実施
- ・対話は対面により実施
- ・対話時間は1参加者1時間程度

(3) 対話実施者数

- ・1事業者と対話を実施（事業者名は非公開）

3. サウンディングの内容

にかほ市コミュニティバス運行事業について、サウンディング調査申込者から60分程度を目安に聞き取り調査を行い、以下の事項に関して自由な提案や意見を求めます。

①コミュニティバス路線について

定時定路線で運行するコミュニティバスの運行において、利用者の利便性と運行効率性向上、運行の安全性や信頼性確保を念頭に、以下の項目等についてご提案ください。

- ・路線再編及び運行形態に関する提案
- ・スクールバス車両の活用など他分野との共創によるリ・デザインに関する提案
- ・運行事業受託の可能性、受託可能な路線に関する提案
- ・事業を受託する場合の条件（契約期間、単価及び積算方法、車両管理、収支精算方法など）
- ・運行事業を受託した場合に提供可能なサービス（車両、運行管理、運賃精算、情報提供、施設整備・設置、ICT技術活用、他）
- ・令和7年12月を運行開始とした実施可能な実証実験を想定した場合の準備スケジュール

②ICT 技術等を活用した新たな交通モードについて

デマンド交通やライドシェアなどコミュニティバスに替わる新たな公共交通として以下の項目についてご提案又はご意見をください。

- ・自家用有償旅客運送及び自家用車活用事業について
- ・新たな移動手段（AI オンデマンド交通、乗合タクシー、タクシー事業、自動運転等）の導入の可能性について
- ・導入可能までの準備スケジュール及び導入概算費用等について

4. サウンディング対話結果の概要

項目	提案・意見など
①コミュニティバス路線について	・小中学生の下校利用が利用しにくいダイヤとなっている。 ・電車への乗り継ぎがしにくい、出来ない時間帯もある。 ・院内小出線は、右回り左回りの組み方がおかしい。 ・仁賀保地区では重複している路線があり、見直しの余地がある。 ・大竹線は買い物利用がしにくい。 ・大竹線に仁賀保高校も含めると良いかも。 ・ダイヤの見直しで利用が増加する可能性ある。 ・不定期運行にすればスクールバスとの共存ができるかも。 ・不定期運行は利用者の少なく固定化されている山間部の路線で可能性はある。 ・有休施設を利活用した事務所もあり。 ・委託費については、事務所の新設費用もあるので掛かりましになってしまう。
②新たな交通モードについて	・デマンド交通は農村部漁村部の人には、あまり合わない傾向。 ・デマンド交通はコミバスより運行経費が下がるとは限らない。 ・デジタル庁に各デマンドシステムメーカーの比較が掲載されている。 ・自動運転についても実証実績ある。

	・車両の有効活用には、自家用有償運送がよい。 ・自家用有償であれば、スクールバスも市バスも利用できる。 ・スクールバスは文科省へ申請が必要な場合もある。
③その他	・電車利用が多い高校生をターゲットにしたダイヤを組む。 ・コミバスの定期券。 ・女性の労働力が県内でも高い。 ・高齢者（独居老人）も増加傾向にある。 ・福祉施策の面でも交通の確保も検討するべき。

4. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング結果を踏まえ、今後は路線再編及び運行内容、実証実験等の事業手法の検討、計画への反映について検討を行うとともに、民間事業者等の公募を検討してまいります。